

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年1月17日

号機

5

件名

非常用ディーゼル発電機の不具合について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年1月16日午後4時45分頃、5号機原子炉建屋付属棟1階、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室（非管理区域）にて、非常用ディーゼル発電機の定例試験後の現場確認中に、当社社員が燃料配管の継ぎ手部分から油（約0.8L）が漏れていることを確認しました。そのため、燃料配管への燃料の供給を停止し、漏えいが止まったことを確認しております。

その後、公設消防へ連絡しました。

なお、漏れた油は堰にとどまっており、油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

【対応状況】

今後、油が漏れた原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

（2024年1月17日にお知らせ済み）

【原因】

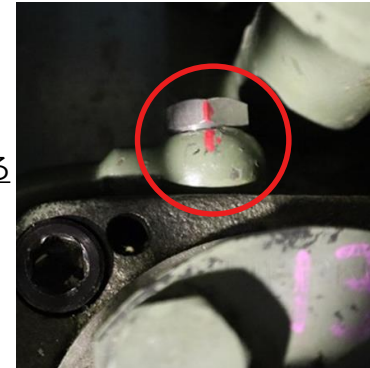
・原因調査をした結果、当該箇所のボルトに緩みがあることを確認し、また、ボルトを締結した後、緩みを確認するために書き入れたマークが見えづらい状況にありました。

分解した結果、傷や劣化などが無いことを確認したことから、非常用ディーゼル発電機の運転による振動の影響により、徐々にボルトが緩み、漏えいに至ったものと推定しました。

【対策】

・当該箇所のボルトの締結を行い、緩みを確認できるよう新たにマークを書き入れました。

・当該箇所及び類似箇所については、定期的にマークの位置ずれを確認し、ボルトの締結管理を行います。
また、マークの見えづらい箇所が確認された場合は、都度、締結状態を確認したうえでマークを書き入れることとしました。



<マークの書き入れ>

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年1月22日

号機

—

件名

発電所屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年1月20日午後2時15分頃、発電所構内の屋外エリアにおいて、クレーンで運搬中の鉄筋架台を、現場に引き寄せる作業をしていた協力企業作業員が、移動中に開口部で転倒し、右脇腹を打ちました。その際、痛みがあったことから、開口部から下のエリアに降りたところ、足を捻り負傷しました。

【対応状況】

病院で診察の結果、「左脛骨顆間隆起骨折」（通院加療、全治2か月）と診断されました。
今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2024年1月22日にお知らせ済み）

②

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	6	件名	中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月8日
号機	5	件名	原子炉建屋（管理区域）における水の漏えいについて（区分：Ⅲ）	発生日	2023年11月21日